

働き方改革アクションプラン

会社名	ファイザー株式会社	従業員数	②1,000人～4,999人
------------	-----------	-------------	----------------

① 時間労働の是正（KPI）

- 2018年未までに、恒常的残業を無くし、残業は突発事項・緊急事項対応のみにする。
(全社としての数値目標は設定していないが、各部門で具体的数値を独自に設定している)

① 時間労働の是正（行動計画）

- 各部門が“働き方改革フォロー表”を策定し、計画を実行し、進捗をフォローする。
- 事業場外みなし労働で就業するMR(医薬営業担当者)の労働時間の削減に注力する。
- 患者さんへの貢献と株主価値を最大化という観点で業務を再構築する。
(業務を止める・削減する・集約する、IT化を進める、会議の削減・効率化・参加者の見直しを進める)
- 全社員が各部門・部署で設定された業務に必要な知識・スキルを特定し、習得する。

働き方改革アクションプラン

会社名	ファイザー株式会社	従業員数	②1,000人～4,999人
------------	-----------	-------------	----------------

② 休の取得促進（KPI）

- 2018年度中に、全社員が2週間の連続休暇（または1週間の休暇最低年2回）を計画的に取得する。
（全社としての数値目標は設定していないが、各部門で具体的数値を独自に設定している）

③ 年休の取得促進（行動計画）

- 各部門が年間計画表を策定し、計画を実行し、進捗をフォローする。
- 「5+4キャンペーン」を継続実施する。
（7月～9月に、有給休暇の5日間と前後の土日をあわせて9日間の夏季休暇を各自が計画的に取得する）
- 役員や管理職がまとまった休暇（2週間の連続休暇、または1週間の休暇最低年2回）を率先して、取得する。

働き方改革アクションプラン

会社名	ファイザー株式会社	従業員数	②1,000人～4,999人
------------	-----------	-------------	----------------

④ 柔軟な働き方の促進（KPI）

フレックスタイム制度や事業場外みなし労働制度、ワークアットホーム制度の一層の活用を促し、生産性を向上させる。

（全社としての数値目標は設定していないが、各部門で具体的数値を独自に設定している）

② 柔軟な働き方の促進（行動計画）

- 東京都の時差ビズキャンペーンと連携して、フレックスタイム制度（オフデー、ウィークエンドフレックスを含む）とワークアットホーム制度（本社の取得事由を問わない在宅勤務制度）の一層の活用を推進する。
- 事業場外みなし労働で就業するMR(医薬営業担当者)の労働時間の削減に注力する。
- 本社ワークアットホーム制度（取得事由を問わない在宅勤務制度）の活用を促進する。
- 名古屋工場でのワークアットホーム制度（取得事由を問わない在宅勤務制度）の導入のために、パイロット実施し、結果を検証する。